



Be the Right ONE

「Toyota Core Values」を発揮した、最近の取り組みをご紹介します

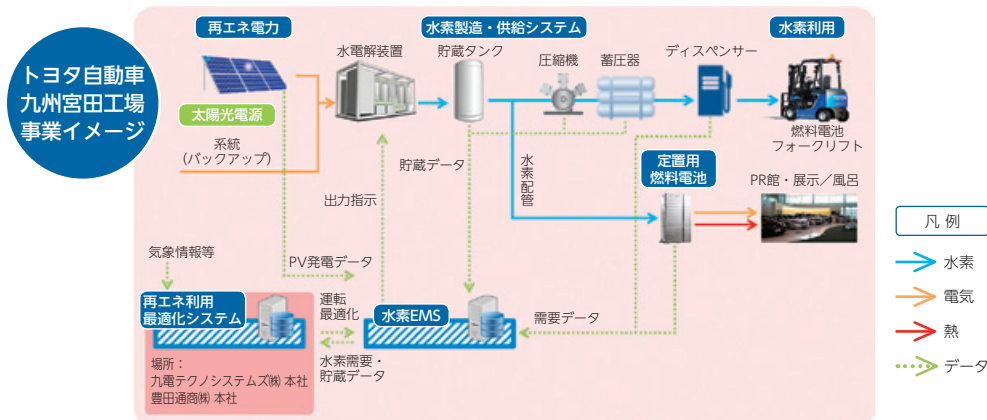
～水素社会実現に向けた取り組み～

当社は、経済産業省の補助事業を活用し、福岡県、トヨタ自動車九州株式会社、九電テクノシステムズ株式会社と共同で、トヨタ自動車九州宮田工場において、太陽光発電、水素製造・貯蔵・輸送・供給システム、燃料電池フォークリフトを設置・導入し、2017年3月をめどに運用を開始します。これは、太陽光由来水素を工場の燃料電池フォークリフトで再利用する全国で初めての取り組みとなる予定です。

また、北海道における風力発電を活用したグリーン水素の製造・貯蔵・輸送・利活用に向けた一連のバリューチェーン構築を目指し、技術実証に

参画しております。

当社は現在、東京都及び愛知県における定置式／移動式水素ステーションの運営、下水汚泥を処理する過程で発生するバイオガスから水素を製造し燃料電池自動車（FCV）に供給する取り組み等を行っています。これらの取り組みを通じ、環境に配慮した次世代モビリティの動力や家庭用・産業エネルギーとして利活用が期待される水素の環境整備に注力するほか、燃料電池普及の側面からも日本における「水素社会の実現」に貢献してまいります。



～安心・安全な車社会づくりへの貢献～

当社は、経済産業省が公募したスマートモビリティシステム研究開発・実証事業のうち「トラックの隊列走行の社会実装に向けた実証」を受託しました。トラック隊列走行の実用化に向けた①技術開発②実証実験③事業面の検討を、大型車メーカー、物流事業者ほか関係各社と協業し、2018年度までに実施いたします。

自動車は、「つながる技術」や「自動運転」向け技術に情報通信や家電AV機器技術、AI（人工知能）等の最先端技術が応用され、“走るエレクトロニクス”となりつつあります。産業機器分野においても「IoT」等による社会インフラや製造工程の効率化と高度化が模索されるなど、エレクトロニクス市場の拡大がますます期待されています。

また、エンジンECU(Electronic Control Units)の開発効率向上に向けて、タイ・バンコクに株式会社デンソーとソフトウェア開発の合併会社Toyota Tsusho DENSO Electronics (Thailand) Co.,Ltd.を設立しました。全工程で一貫してモデルを活用したソフトウェア開発を行い、且つソフトウェア

の標準化を通じて開発の効率化及びスピードアップを図ってまいります。

今後は、豊田通商グループ各社が持つ多様な技術・ノウハウを結集して、より安心・安全な社会づくりに貢献し、様々な社会問題の解決を提案してまいります。



トラック隊列走行の実証風景
(新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) /
エネルギーITS推進事業/2012年度)



Be the **Right ONE**

～アフリカ市場への挑戦～

当社は、8月にケニアで開催された第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）に参加しました。TICAD VIの主要課題の一つである「アフリカの経済多角化・産業化」達成に向けて、当社のアフリカにおけるネットワークを活用し、日本政府をはじめ、日本、フランスなどの各国企業と協業し、インフラやエネルギーなど様々な分野での官民連携ビジネスを通じた更なる貢献を目指してまいります。本会議では、ルワンダの投資庁とのキガリ市における交通渋滞情報システム実証事業の共同実施や、エチオピア、ケニア両国との地熱鉱区における次期開発鉱区選定、その開発計画に関する共同調査等の覚書を締結しました。



TICAD VIで開かれたセレモニーでの集合写真
(後列左から3番目:当社加留部社長、前列:安倍総理と各国首脳陣)

またケニアにおいては、同国西部に位置するエルドレットに肥料製造工場を建設し、8月より順次、本格的な肥料生産・販売を開始しました。地元のモイ大学や国際機関であるAFAP及びIFDC※と連携し新しい肥料ブランド「Baraka FERTILIZER」の開発を行い、土壌の性質、農作物に適した肥料を供給することにより、農業生産性の向上が見込まれ、食料の安定供給に貢献してまいります。

※ IFDC : International Fertilizer Development Center

